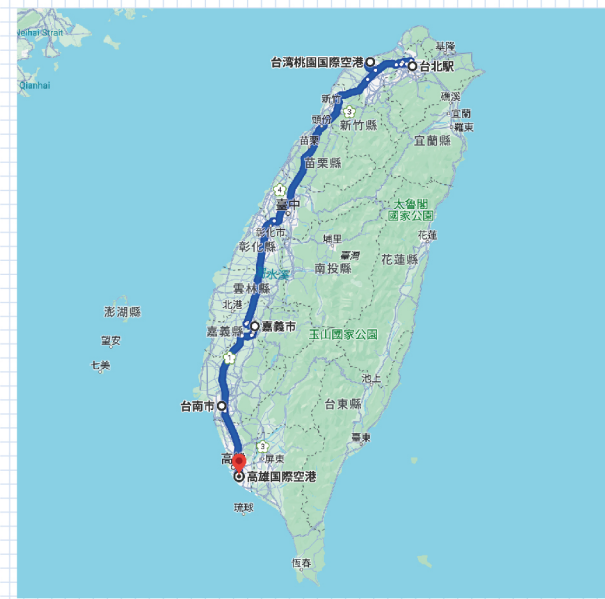




# 歴史文化からみる台湾

## ～日本統治から現代において～



榎彩奈・坂本香蓮・中村翠  
東星良・藤川日菜  
県立広島大学

エリア

北部 中部 南部

テーマ

歴史 文化 建築 芸術・文学 食文化 宗教



### 学びのポイント

日本の教育では、日本が統治していた頃の台湾について学ぶことがあまりありません。「日本は台湾に良いことをした」という抽象的な言説も多いと思われる。日本が台湾で何を行っていたのか、太平洋戦争が台湾にどのような影響を与えたのかを知ることができるスポットも今回選んでみました。さらに、日本では台湾の歴史を深く学ぶ機会も限られていることから、台湾の歴史を知る上で象徴的なスポットを選びました。台湾という社会がどのように成立したのか、宗教や文化からも学べるようにしました。例えば、台湾の人々に人気のある媽祖や、台湾観光に行けば必ず行くといっってよい国立故宮博物院です。その歴史や成り立ちを知ることが、台湾の歴史を学ぶことにつながります。

### 参考文献

- 若林正文『台湾の歴史』講談社学術文庫 2023年
- 周婉窈『増補版 図説 台湾の歴史』平凡社 2013年
- 薛化元編『詳説台湾の歴史 台湾高校歴史教科書』雄山閣 2020年
- 家永真幸『国宝の政治史「中国」の故宮とパダ』東京大学出版会 2017年

※こちらのコースは「みんなの台湾教育旅行記」2023年10月に募集したものをベースに加筆・添削し写真を一部差し替えています。



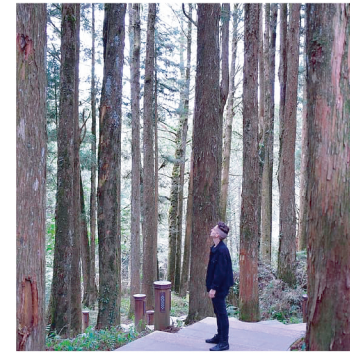
#### 台南愛国婦人館(台南市)

台南愛国婦人館は、日本統治時代の1940年に、台湾愛国婦人会台南支部として竣工しました。日露戦争中に日本で設立された婦人団体の一つに「愛国婦人会」があり、植民地における女性動員を目的とした活動を行っていました。戦後は、アメリカ大使館広報局台南支部や台南市図書館分館としても使われました。和洋折衷の木造建築のレトロな雰囲気が素敵な建物です。この建物では現在「文創PLUS-臺南創意中心(台南創意センター)」というアート、文化の発信拠点として、芸術展示なども催されています。「文創」とは、文化を資源に新たな産業を作り出していくという意味です。



#### 嘉義旧刑務所(嘉義市)

日本統治時代の1921年に建てられた刑務所で、1994年まで使われていました。当時の獄舎、病舎、工場、看守所などの施設群が欠けることなく残っている貴重な建築で、修復工事を終えた2011年に獄政資料館としてオープンしました。中心にある看守棟から囚人房を見通す通路が放射状にのびるパノプティコンと呼ばれる配置は、日本の網走刑務所にもありました。



#### 阿里山林業村(嘉義市)

日本統治時代の林業について学ぶことができます。日本統治時代の台湾では、官営事業として林業開発が積極的に進められました。阿里山森林鉄道が観光地としても有名ですが、その鉄道を使って木材が嘉義へ運ばれていました。2000年代以降、阿里山林業村の一部である旧製材所跡が歴史遺産として保存、整備され、近隣にある林業鉄道の修理工場跡(現・嘉義鉄道芸術村)、旧宿舍群が集まる旧檜町一帯(現・檜意森活村)とともに一般公開されています。



#### 北港朝天宮(雲林県)

海の神様、媽祖を祀っています。媽祖は台湾で非常に人気がある神様で信者も多く、海のことに限らず御利益があるとされています。北港朝天宮は17世紀に福建省から媽祖の神像を迎え入れて建立されたといわれ、台湾でも代表的な媽祖廟のひとつです。分祀された媽祖像を大きなみこしに乗せてももとの廟などを訪問する行事を進香(神さまの里帰り)といいます。台湾の神様の多くには誕生日があり、媽祖の誕生日は3月とされています。その頃に進香が行われます。



#### 国立故宮博物院(台北市)

国立故宮博物院は世界的にも有名な博物館です。戦後、中国大陸から運ばれた歴代の中華王朝の美術品が主な展示品で、1965年にオープンしました。中華民国政府が台湾で中華文化を保護している象徴として建てられたものです。白と緑の翡翠で白菜に見える「翠玉白菜」はたいへん人気があり、2014年には東京国立博物館で展示されたこともあります。国立故宮博物院がなぜできたのか、その目的は何かを知ることは、台湾の戦後の歴史を理解するうえで重要です。

1 目	START 高雄国際空港
	台南
	国立台湾歴史博物館
	台南愛国婦人館
2 目	嘉義
	嘉義旧刑務所
	阿里山林業村
	北港朝天宮
	頼和記念館
3 目	台北
	国立故宮博物院
	大稻埕台湾料理研習所
	九份
	士林夜市
4 目	總統府
	台北101
	GOAL 台湾桃園国際空港